

## 事業所における自己評価結果(公表) 事業所

公表: 令和6年3月15日

事業所名: 南療育相談児童発達支援事業所

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標(工夫、課題、改善点など)
環境・体制	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	0	・今後も利用者の方が安全、快適に過ごせるよう環境整備に努めます。
	2	職員の配置数は適切であるか	10	0	
	3	活動スペースは、子どもの特性に応じ、本人にわかりやすい設定になっているか。また、子どもの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリーや安全への配慮や感染症対策への対応が適切にされているか	10	0	
	4	活動スペースは、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの活動に合わせた空間になっているか	10	0	
業務改善	5	業務改善を進めるためにPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10	0	・今後も業務改善に努め、研修などを通して職員の資質向上に努めます。
	6	職員の資質の向上を行うために、研修等の機会を確保しているか	10	0	
適切な支援の提供	7	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10	0	・今後もお子さんと保護者のニーズに合わせた児童発達支援計画を作成し、計画に沿った体験療育を提供できるよう努めます。
	8	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	0	
	9	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	0	
	10	活動プログラムを毎回工夫しているか	10	0	
	11	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	0	
	12	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	0	
	13	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	
14	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10	0		

関係機関や保護者との連携	15	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	10	0	・今後も関係機関と保護者との連携を図り、より充実した支援が提供できるよう努めます。
	16	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	10	0	
	17	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	10	0	
	18	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	0	
	19	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	0	
	20	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センター等と連携しているか	10	0	
	21	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共有できているか	10	0	
保護者への説明等	22	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	0	・今後もより丁寧な説明や情報の提供に努めます。
	23	児童発達支援計画を示しながら、支援内容や支援計画の説明を行い、保護者から同意を得ているか	10	0	
	24	保護者に対して必要な情報の提供を行っているか	10	0	
	25	保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、保護者に周知・説明がされ、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応しているか	10	0	
	26	個人情報の取扱いに十分な配慮がなされているか	10	0	
非常時等の対応	27	緊急時や感染症対応等について、保護者に説明しているか	10	0	・職員の避難訓練を今後も実施し、非常災害時に職員が適切な対応を取れるよう努めます。 ・児童発達支援の協力機関の医師の助言を下に職員が適切な対応を取れるよう努めます。
	28	非常災害の発生に備え、保護者に避難経路等について案内や説明をしているか	10	0	
	29	事前に、服薬やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	10	0	
	30	虐待を防止するため、職員の研修機会等を確保するなど、適切な対応をしているか	10	0	